

第45回 定時株主総会招集ご通知

開催日時 平成24年6月22日(金曜日)午前10時

開催場所 神戸市西区糀台5丁目6番3号
神戸 西神オリエンタルホテル 4階 翔雲の間
(末尾の「第45回 定時株主総会 会場ご案内略図」をご参照ください。)

議案

第1号議案 >> 剰余金処分の件

第2号議案 >> 監査役3名選任の件

目次

招集ご通知

招集ご通知	2
議決権の行使等についてのご案内	3

株主総会参考書類

第1号議案 剰余金処分の件	6
第2号議案 監査役3名選任の件	7

事業報告

I.企業集団の現況	8
1.当連結会計年度の事業の状況	8
2.直前3事業年度の財産および損益の状況	11
3.重要な親会社および子会社の状況	12
4.対処すべき課題	13
5.主要な事業内容	14
6.主要な営業所および工場	15
7.使用人の状況	17
8.主要な借入先の状況	17
9.その他企業集団の現況に関する重要な事項	17

事業報告

II.会社の現況	18
1.株式の状況	18
2.新株予約権等の状況	19
3.会社役員の状況	20
4.会計監査人の状況	22
5.業務の適正を確保するための体制	23
6.会社の支配に関する基本方針	26

連結計算書類・計算書類

連結貸借対照表	27
連結損益計算書	28
連結株主資本等変動計算書	29
貸借対照表	30
損益計算書	31
株主資本等変動計算書	32

監査報告書

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本	33
会計監査人の監査報告書 謄本	34
監査役会の監査報告書 謄本	35

株主各位

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

シスメックス株式会社

取締役社長 家次 恒

第45回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第45回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面または電磁的方法(インターネット)によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、平成24年6月21日(木曜日)午後5時35分までに到着するようにご送付いただくか、当社の指定する議決権行使サイト(<http://www.evotex.jp/>)より議決権をご行使いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日時 平成24年6月22日(金曜日)午前10時
2. 場所 神戸市西区梶台5丁目6番3号 神戸 西神オリエンタルホテル 4階 翔雲の間
(末尾の「株主総会会場ご案内略図」をご参照ください。)
3. 目的事項
 - ◆ 報告事項
 1. 第45期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第45期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)計算書類報告の件
 - ◆ 決議事項
 - 第1号議案 剰余金処分の件
 - 第2号議案 監査役3名選任の件
4. 招集にあたっての決定事項
次頁【議決権の行使等についてのご案内】をご参照ください。

以 上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎次の事項につきましては、法令ならびに当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.sysmex.co.jp>) に掲載しておりますので、本招集ご通知には記載していません。

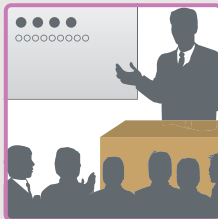
- ① 連結計算書類の連結注記表
- ② 計算書類の個別注記表

◎株主総会参考書類ならびに事業報告、計算書類および連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.sysmex.co.jp>) に掲載させていただきます。

議決権の行使等についてのご案内

議決権の行使には以下3つの方法がございます。

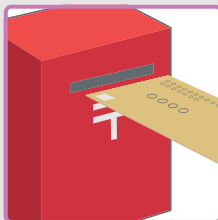
1 株主総会へ出席する場合



議決権行使書用紙を
会場受付へ提出
(捺印は不要)



2 議決権行使書を郵送する場合



各議案の賛否を
表示のうえ投函
(お早めにご投函ください)



3 インターネットによる議決権行使の場合



5ページを
ご参照ください

ご注意

- ①書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取扱わせていただきます。
- ②インターネットにより複数回数にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。
- ③インターネットにより議決権を行使される場合は、5ページに記載の[インターネットによる議決権行使のご案内]をご確認のうえ、行使していただきますようお願い申し上げます。
- ④当日ご出席の場合は、書面(議決権行使書)またはインターネットによる議決権行使のお手続きはいずれも不要です。

議決権行使書のご記入方法

議決権行使書

シスメックス株式会社 御中 議決権の数

_____ 個

私は、平成24年6月22日開催のシスメックス株式会社第45回定時株主総会（継続会または延会を含む）の各議案につき、右記（賛否を○印で表示）のとおり、議決権を行使します。
平成24年6月 _____ 日

各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛の表示があったものとして取扱いします。
シスメックス株式会社

議案	原案に対する賛否	
	賛	否
第1号議案	賛	否
第2号議案	賛	否

こちらに、各議案の賛否をご記入ください。

議決権の数

_____ 個

基準日現在のご所有株式数 _____ 株

議決権の数は1単元(100株)につき1個となります。

お 願 い

- 株主総会にご出席の際は、左の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。
- 株主総会にご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法により議決権を行使することができます。
 - 【郵送による議決権の行使の場合】
 - 議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、株主総会招集ご通知に記載の行使期限までに到着するようお早めにご返送ください。
 - 【インターネットによる議決権の行使の場合】
 - <http://www.evotote.jp/>
 - パソコンから上記アドレスにアクセスしてください。
 - 下記のログインID・仮パスワードをご利用になり、画面の案内に従って、株主総会招集ご通知に記載の行使期限までに議決権を行使してください。
- 表面もよくお読みください。

ログインID _____

仮パスワード _____ 株主番号(8桁) _____

シスメックス株式会社

[第1号議案]

議案について、賛成の方は **賛** を
否認の方は **否** を○で囲んでください。

[第2号議案]

すべての候補者に賛成の場合 **賛** を○で囲んでください。

すべての候補者を否認する場合 **否** を○で囲んでください。

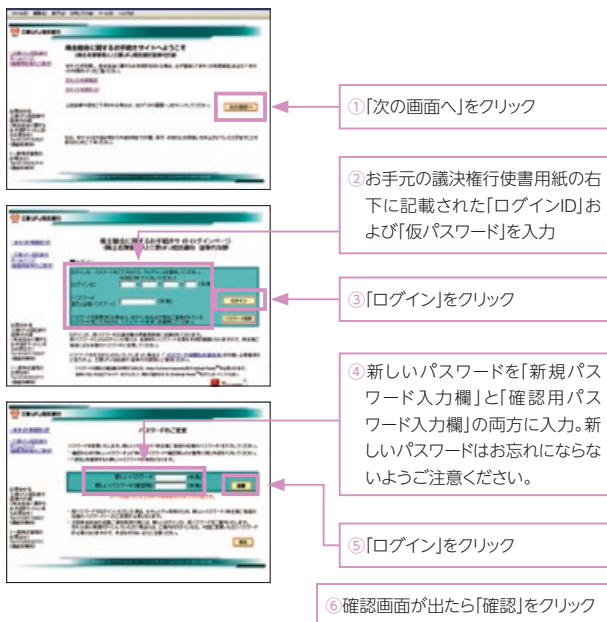
一部の候補者を否認する場合 **賛** を○で囲み、否認する候補者の番号を欄内に記載してください。

※ 各議案につきまして、賛否の記載が無い場合、賛の表示があったものとしてお取扱いいたします。

インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、パソコンから議決権行使サイト(<http://www.evote.jp/>)にアクセスし、画面の案内に従って行使いただきますようお願い申し上げます。

◆ パソコンでの操作方法



- ①「次の画面へ」をクリック
- ②お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」および「仮パスワード」を入力
- ③「ログイン」をクリック
- ④新しいパスワードを「新規パスワード入力欄」と「確認用パスワード入力欄」の両方に入力。新しいパスワードはお忘れにならないようご注意ください。
- ⑤「ログイン」をクリック
- ⑥確認画面が出たら「確認」をクリック

平成24年6月21日(木曜日)午後5時35分まで承りますが、
お早めに行ってください。

システム等に関する
お問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(ヘルプデスク)
電話 0120-173-027(受付時間 9:00~21:00、通話料無料)

1. 議決権行使サイトについて

- ①インターネットによる議決権行使は、パソコンから当社の指定する議決権行使サイト(<http://www.evote.jp/>)にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です(ただし、毎日午前2時から午前5時までは取扱いを休止します。)
- ②パソコンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用いただけない場合もございます。
- ③インターネットによる議決権行使は、平成24年6月21日(木曜日)の午後5時35分まで受け付けいたしますが、お早めに行っていただき、ご不明点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

2. インターネットによる議決権行使方法について

- ①議決権行使サイト(<http://www.evote.jp/>)において、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」および「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。
- ②株主様以外の方による不正アクセス(“なりすまし”)や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承ください。
- ③株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」および「仮パスワード」をご通知いたします。

3. 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用(インターネット接続料金・電話料金等)は、株主様のご負担となります。

株主総会参考書類

第1号議案

剰余金処分の件

期末配当に関する事項

当社は、配当の決定に際しては、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針とし、連結業績と配当性向を勘案し配当を行ってまいります。この方針のもと、当期の期末配当につきましては、右記のとおりといたしたいと存じます。

1 配当財産の種類

金銭といたします。

2 配当財産の割当てに関する事項およびその総額

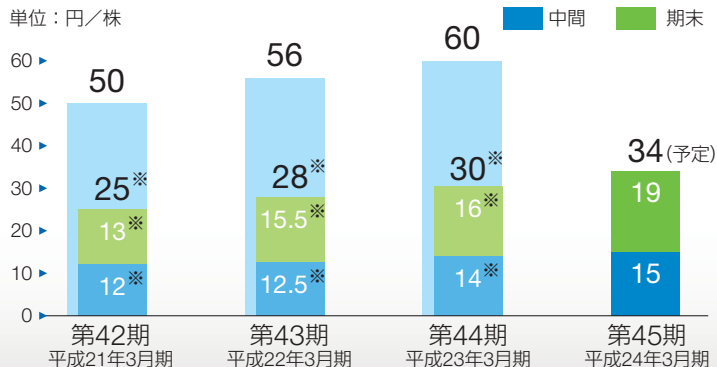
当社普通株式1株につき19円(配当総額1,953,375,788円)といたしたいと存じます。これにより中間配当金(1株につき15円)とあわせて、年間配当金は1株につき34円となります。

3 剰余金の配当が効力を生じる日

平成24年6月25日といたしたいと存じます。

ご参考

配当金の推移



※ 平成23年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしましたので、第42期から第44期までの配当金につきましては、株式分割後ベースに換算した場合の配当金を記載しております。

第2号議案

監査役3名選任の件

監査役小林晴美氏、宮内利幸氏および稲益 勇氏の3名は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、新たに監査役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、地位および重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
1	う はら かつ お 鵜 原 克 夫 (昭和27年2月18日生)	昭和56年3月 当社入社 平成13年4月 当社商品本部長 平成17年4月 当社執行役員SCM本部長 平成23年4月 シスメックスTMC株式会社代表取締役社長	17,200株
2	きた がわ まさ み 北 川 正 己 (昭和27年8月9日生)	昭和50年4月 当社入社 平成14年5月 当社営業推進本部長 平成17年4月 当社執行役員営業推進本部長 平成21年4月 当社執行役員国内事業推進本部長 平成22年4月 当社執行役員シスメックス国際試薬株式会社代表取締役社長 平成23年4月 シスメックス国際試薬株式会社代表取締役社長	37,700株
3	まえ なか くに あき 前 仲 邦 昭 (昭和25年10月12日生)	昭和52年9月 等松・青木監査法人（現有限責任監査法人トーマツ） 入所 平成元年6月 同監査法人パートナー就任 平成22年9月 同監査法人退職	1,000株

- (注) 1. 各候補者は、いずれも新任の監査役候補者であります。
 2. 各候補者と当社との間には、いずれも特別の利害関係はありません。
 3. 前仲邦昭氏は、社外監査役候補者であります。
 4. 前仲邦昭氏を社外監査役候補者とした理由は、公認会計士としての専門知識・経験等を当社の監査体制の強化に活かしていただくためであります。
 なお、同氏は、直接企業経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により、社外監査役としての職務を遂行いただけるものと判断いたしました。

以 上

事業報告 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

I. 企業集団の現況

I-1. 当連結会計年度の事業の状況

①事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災後の厳しい経済環境から回復の兆しが見られたものの、資源価格の高騰、歴史的な円高が継続し、先行き不透明な状況で推移しました。欧米では、欧州での財政危機の長期化、中東・アフリカ情勢の動向、ガソリン価格高騰による消費者心理の悪化などにより、景気回復に停滞感が見られるなど今後の経済動向は楽観できない状況にあります。一方、新興国では、堅調な成長を維持してきた中国において景気の緩やかな減速が見られ、消費者物価の上昇など不安定な要素があるものの、総じて堅調な経済成長が継続しています。

医療面におきましては、国内では、公立病院改革プランおよび診療報酬改定の効果により医療機関の収益は改善に転じています。一方、欧米先進国では医療費抑制と制度改革に取り組んでおり、米国では、無保険者の解消を目指す医療保険改革法案に関する議論が継続されています。また、中国では、都市・農村での医療サービスの格差解消を目指し、医療保険制度を含む医療制度改革が推進されています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、主力の血球計数検査分野における最上位モデルの新製品として、多項目自動血球分析装置XNシリーズの販売を開始しました。この製品は全地域を販売対象としており、各国の許認可取得後に順次発売してまいります。また、国内市場における今後の需要増加・生産量拡大に備えるとともに、多項目自動血球分析装置XNシリーズに採用した濃縮試薬などの生産に対応するため、試薬生産拠点であるシスメックス国際試薬株式会社の小野工場（兵庫県小野市）に新工場棟を増設し、生産能力を従来の約1.5倍に引き上げて平成24年3月から稼働いたしました。

ご参考

多項目自動血球分析装置XNシリーズ



シスメックス国際試薬株式会社 小野工場



国内販売につきましては、医療制度改革に伴う経営改善により大規模医療機関の設備投資は底堅く推移しており、ソリューション提案を引き続き推進した結果、大型案件の受注が好調に推移し、国内売上高は主力の血球計数検査分野を中心に堅調に推移しました。その結果、国内売上高は39,735百万円（前期比3.1%増）となりました。

海外販売につきましては、販売・サービス体制の強化、ソリューション提案を進めてまいりました結果、検体検査機器および検体検査試薬の売上が伸長し、各国現地通貨ベースでは概ね順調に推移しました。その結果、大幅な円高の影響を補い、当社グループの海外売上高は95,008百万円（前期比10.3%増）、構成比70.5%（前期比1.4ポイント増）となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は134,743百万円（前期比8.1%増）、営業利益は19,205百万円（前期比5.0%増）、経常利益は19,130百万円（前期比6.4%増）、当期純利益は12,007百万円（前期比5.2%増）となりました。

ご参考

» 売上高



» 営業利益



» 経常利益



» 当期純利益



②設備投資の状況

当連結会計年度に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は、7,908百万円であります。その主な内容は、海外市場での事業拡大に伴う海外子会社における販売促進用設備等の拡充によるものであります。

③資金調達の状況

当連結会計年度の資金調達につきましては、特筆すべき事項はありません。

④事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑥吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

⑦他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

該当事項はありません。

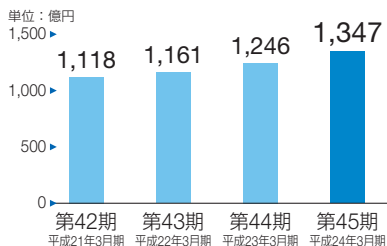
I-2. 直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	第 42 期 平成21年3月期	第 43 期 平成22年3月期	第 44 期 平成23年3月期	第 45 期 (当連結会計年度) 平成24年3月期
売 上 高 (百万円)	111,842	116,174	124,694	134,743
経 常 利 益 (百万円)	12,985	15,772	17,979	19,130
当 期 純 利 益 (百万円)	8,013	9,764	11,411	12,007
1株当たり当期純利益 (円)	156.72	190.75	222.35	116.85
総 資 産 (百万円)	118,521	120,702	130,059	142,285
純 資 産 (百万円)	79,850	87,136	94,232	102,502
1株当たり純資産額 (円)	1,548.19	1,684.90	1,821.37	990.51

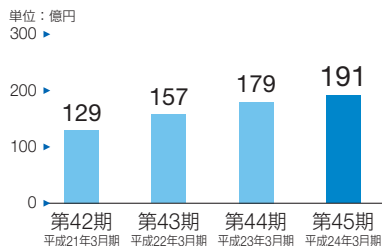
(注) 平成23年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしましたので、第45期の1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額は株式分割後の株式数で算出しております。

ご参考

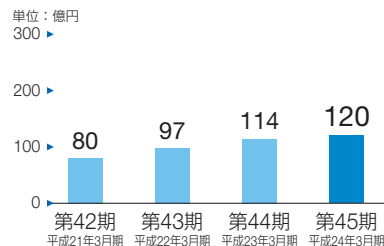
》売上高



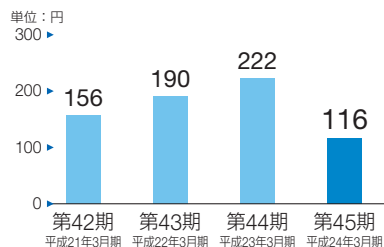
》経常利益



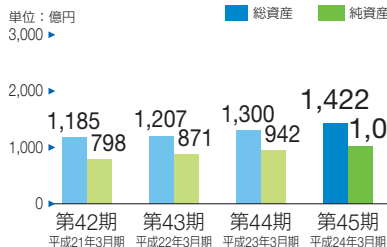
》当期純利益



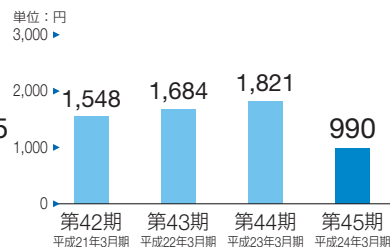
》1株当たり当期純利益



》総資産・純資産



》1株当たり純資産額



(注) 平成23年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしましたので、第45期の1株当たり当期純利益は株式分割後の株式数で算出しております。

(注) 平成23年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしましたので、第45期の1株当たり純資産額は株式分割後の株式数で算出しております。

I-3. 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

該当事項はありません。

②重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
シスメックス国際試薬株式会社	300百万円	100.0%	検体検査試薬の製造
シスメックス アメリカインク (米国)	22,000千米ドル	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス ヨーロッパ ゲーエムベーハー (ドイツ)	820千ユーロ	100.0%	検体検査機器の販売、代理店サポートおよび検体検査試薬の製造、販売
シスメックス ドイツュラント ゲーエムベーハー (ドイツ)	2,050千ユーロ	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス ユーケー リミテッド (英国)	400千ポンド	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス フランス エスエーエス (フランス)	2,457千ユーロ	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス ベルギー エヌフィ (ベルギー)	62千ユーロ	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス ネザーランド ビーフィ (オランダ)	18千ユーロ	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
希森美康医用電子(上海) 有限公司 (中国)	1,000千米ドル	100.0%	検体検査機器および検体検査試薬の販売
シスメックス アジア パシフィックピーティーイー リミテッド (シンガポール)	3,500千 シンガポールドル	100.0%	検体検査機器の販売、代理店サポートおよび検体検査試薬の製造、販売

I-4. 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、中国などの新興国での持続的な成長に加え、日本において円高進行が一段落し、震災復興需要による景気回復が見込まれています。また、米国においては一部で景気回復の兆しが見え始めるなど、世界的な景気低迷の影響は緩やかに改善の動きが見られます。一方で、欧州での財政危機の再燃懸念など不確実性が残っており、今後の世界経済の動向は楽観できない状況にあります。

一方、医療を取り巻く環境につきましては、日本や欧米等の先進国における高齢化の進行、予防医療の拡充に加え、新興国における医療環境整備が継続して進められるなど、検査の需要は底堅いと予想されます。

こうした中、当社グループでは、ヘルスケアテストング領域における特徴のあるグローバル企業として、成長に向けた3つの基本戦略「リード・ヘマトロジー」、「リード・エマージングマーケット」、「ライフサイエンス・イノベーション」に基づき、日本、米州、欧州、中国およびアジア・パシフィックの5つの地域において、地域特性に応じたソリューションビジネスの推進、品揃えの充実、販売・サービス体制の拡充等を進めます。また、サプライチェーンの改革による原価率の低減、販売費及び一般管理費の削減など収益構造の強化も継続的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

I-5. 主要な事業内容（平成24年3月31日現在）

当社グループは、主として医療分野における検体検査機器および検体検査試薬の開発、製造、販売、サービスならびに輸出入を行っており、主要品目は次のとおりであります。

また、検体検査機器、検体検査試薬に加え、ソフトウェア、検体検査機器のメンテナンスや、学術サポートなど幅広い製品とサービスを融合し、医療機関の多様な課題を解決するソリューションを提案しております。

なお、検体検査とは臨床診断に要する情報を提供するために血液、尿など体内から取り出したもの（検体）を調べることであります。

区 分	主 要 品 目	説 明
検体検査機器	総合血液学検査システム	複数の検査装置を接続することにより、検査を効率良く行うシステム
	血球計数検査装置	血球数を数えたり異常な血球がないかを調べる装置
	血液凝固検査装置	血液が固まる機能を調べる装置
	免疫血清検査装置	癌や感染症などの罹患時に増えるたんぱく質などを調べる装置
	尿検査装置	尿中の有形成分の種類および数を調べる装置
検体検査試薬	血球計数検査用試薬 血液凝固検査用試薬 免疫血清検査用試薬 尿検査用試薬 生化学検査用試薬	各種検査に使用する検査試薬
保守サービス	—	検体検査機器の保守サービス

I-6. 主要な営業所および工場

ご参考



» 海外の主要な拠点

シスメックス アメリカ インク

統括拠点	アメリカ合衆国イリノイ州
------	--------------

シスメックス ヨーロッパ ゲーエムベアー

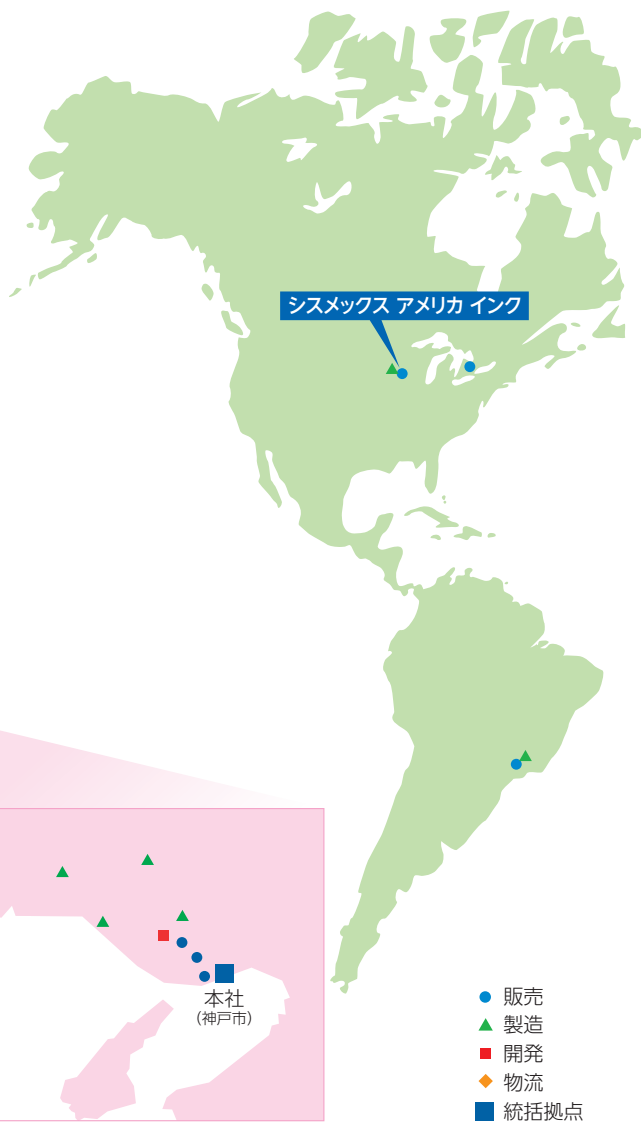
統括拠点	ドイツ連邦共和国ノーデルシュタット市
------	--------------------

希森美康医用電子(上海)有限公司

統括拠点	中華人民共和国上海市
------	------------

シスメックス アジア パシフィック ピーティーイー リミテッド

統括拠点	シンガポール共和国
------	-----------



≫ 国内の主要な拠点

シスメックス株式会社

本社	神戸市中央区
支社	東京支社(東京都品川区)
支店	仙台支店(仙台市青葉区) 北関東支店(さいたま市大宮区) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市名東区) 大阪支店(大阪府吹田市) 広島支店(広島市中区) 福岡支店(福岡市博多区)
営業所	札幌営業所(札幌市北区) 盛岡営業所(岩手県盛岡市) 長野営業所(長野県松本市) 新潟営業所(新潟市中央区) 千葉営業所(千葉市美浜区) 静岡営業所(静岡市駿河区) 金沢営業所(石川県金沢市) 京都営業所(京都市中京区) 神戸営業所(神戸市中央区) 高松営業所(香川県高松市) 岡山営業所(岡山市北区) 鹿児島営業所(鹿児島県鹿児島市)
工場	加古川工場(兵庫県加古川市)
その他	テクノパーク(神戸市西区) ソリューションセンター(神戸市西区) 研究開発センター(神戸市西区) BMAラボラトリー(神戸市中央区) 首都圏サービスセンター(東京都大田区) タンパク質開発センター(埼玉県狭山市)

シスメックス国際試薬株式会社

本社	神戸市西区
工場	西神工場(神戸市西区) 小野工場(兵庫県小野市)

I-7. 使用人の状況（平成24年3月31日現在）

①企業集団の使用人の状況

使用人数	前連結会計年度末比増減
4,596(649)名	増348(増43)名

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

②当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
1,785(309)名	増129(増32)名	39.0歳	10.6年

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

I-8. 主要な借入先の状況（平成24年3月31日現在）

該当事項はありません。

I-9. その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

Ⅱ. 会社の現況

Ⅱ-1. 株式の状況（平成24年3月31日現在）

①発行可能株式総数 299,344,000株

②発行済株式の総数 103,027,016株

③株主数 8,084名

④大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	10,271千株	10.0%
中谷忠子	8,006	7.8
有限会社中谷興産	5,148	5.0
中谷正	4,990	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,964	4.8
家次和子	3,062	3.0
和田妙子	3,062	3.0
井谷憲次	2,500	2.4
両晋株式会社	2,400	2.3
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	2,338	2.3

(注) 持株比率は自己株式（217,764株）を控除して計算しております。

II-2. 新株予約権等の状況

①当事業年度末日における新株予約権の状況

第2回新株予約権（平成19年7月30日発行）

- ・新株予約権の数
5,558個（新株予約権1個につき200株）
- ・新株予約権の目的である株式の数
普通株式 1,111,600株
- ・新株予約権の払込金額
金銭の払込を要しないものとする
- ・新株予約権の行使価額
1個当たり 465,000円（1株当たり 2,325円）
- ・新株予約権を行使することができる期間
平成21年7月30日から平成27年7月29日まで
- ・新株予約権の行使の条件
 - (i) 新株予約権の割当てを受けた者（以下「新株予約権者」という。）は、新株予約権の行使時において、当社もしくは当社子会社の取締役、監査役または従業員であることを要する。ただし、新株予約権者が当社もしくは当社子会社の取締役、監査役を任期満了により退任した場合および従業員を定年により退職した場合は、退任および退職後2年間に限り新株予約権を行使できるものとする。
 - (ii) 新株予約権者の相続人は、新株予約権を行使することができないものとする。
 - (iii) 新株予約権の譲渡、質入その他一切の処分は認めないものとする。
- ・新株予約権の役員および従業員等の保有状況

	新株予約権の数	目的である株式の数	保有者数
取締役	1,210個	242,000株	8名
当社従業員	3,461	692,200	131
子会社の役員および従業員	887	177,400	51

②当事業年度中に交付した新株予約権の状況

該当事項はありません。

③その他新株予約権等に関する重要事項（平成24年3月31日現在）

該当事項はありません。

II-3. 会社役員の様況

①取締役および監査役の様況（平成24年3月31日現在）

会社における地位	氏名	担当および重要な兼職の様況
代表取締役社長	家次恒	社団法人日本臨床検査薬協会会長
取締役	雪本賢一	専務執行役員 社長補佐、CSR本部担当
取締役	林正好	専務執行役員 国内事業推進本部、東日本営業本部、西日本営業本部、学術本部、 カスタマーサポート本部担当
取締役	大東重則	常務執行役員 品質保証本部、SCM本部、生産統括本部、機器生産本部担当
取締役	中島幸男	常務執行役員 経営企画本部、経営管理本部、人事総務本部、秘書室担当
取締役	田村幸嗣	常務執行役員 IVD事業戦略本部、ライフサイエンス事業推進本部、 新事業推進本部担当 兼 新事業推進本部長
取締役	尾辺和也	執行役員 海外事業推進本部担当
取締役	渡辺充	執行役員 研究開発企画本部、中央研究所、技術開発本部、商品開発第一本部、 商品開発第二本部担当
常勤監査役	小林晴美	
常勤監査役	宮内利幸	
監査役	藤岡弘	
監査役	稲益勇	

(注) 1. 監査役藤岡 弘氏および監査役稲益 勇氏は、社外監査役であり、当社は、東京証券取引所および大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

2. 上記以外の執行役員と、その担当および重要な兼職の様況は以下のとおりであります。

氏名	担当および重要な兼職の様況
石田道明	執行役員 SCM本部、生産統括本部、機器生産本部副担当
合田隆	執行役員 国内事業推進本部、東日本営業本部、西日本営業本部副担当
浜口行雄	執行役員 技術開発本部長
浅野薫	執行役員 研究開発企画本部長
山本純三	執行役員 機器生産本部長
立花健治	執行役員 IVD事業戦略本部長
松井石根	執行役員 経営企画本部長

②取締役および監査役の報酬等

区 分	員 数	報酬等の総額
取 締 役	8名	522百万円
監 査 役 (うち社外監査役)	4 (2)	42 (6)
合 計	12	564

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、平成23年6月24日開催の第44回定時株主総会において、年額1,000百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。また、これとは別枠にて、平成19年6月22日開催の第40回定時株主総会において、取締役に對するストックオプションのための報酬等として、新株予約権を年額250百万円の範囲で付与することを決議いただいております。
2. 監査役の報酬限度額は、平成7年6月28日開催の第28回定時株主総会において、年額80百万円以内と決議いただいております。

③社外役員の状況

- イ. 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係
- ・該当事項はありません。
- ロ. 他の法人等の社外役員等としての重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係
- ・該当事項はありません。
- ハ. 当事業年度における主な活動状況
- ・取締役会および監査役会への出席状況

	取締役会（12回開催）		監査役会（15回開催）	
	出席回数	出席率	出席回数	出席率
監査役 藤 岡 弘	12回	100%	15回	100%
監査役 稲 益 勇	12	100	15	100

- ・取締役会および監査役会における発言状況

監査役藤岡 弘氏、監査役稲益 勇氏は、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するために、必要に応じ、適宜、発言を行っております。また、監査役会において、監査の方法、監査結果など監査役の職務の執行に関する事項について、発言を行っております。

Ⅱ-4. 会計監査人の状況

①名称 有限責任監査法人トーマツ

②報酬等の額

	支払額
当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	67百万円
当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	67

- (注) 1. 当社の重要な子会社のうち、シスメックス ヨーロッパ ゲームベーパーほか7社は、当社の会計監査人以外の公認会計士または監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む。）の監査（会社法または金融商品取引法（これらの法律に相当する外国の法令を含む。）の規定によるものに限る。）を受けております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の報酬の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

③非監査業務の内容

該当事項はありません。

④会計監査人の解任または不再任の決定の方針

取締役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会の同意を得たうえで、または、監査役会の請求に基づいて、会計監査人の解任または不再任を株主総会の会議の目的とすることいたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

II-5. 業務の適正を確保するための体制

内部統制システムの基本方針についての取締役会における決議内容は以下のとおりであります。

①取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社は、法令遵守とともに、高い倫理観に基づいた正々堂々とした事業活動を行うことをコンプライアンスの定義としており、以下のとおり、その体制を整備します。

コンプライアンス違反を社会的信用を失墜させる最も重要なリスクととらえ、グループを含めた全社のリスク管理体制の下で、グループのコンプライアンスを推進・強化します。また、役職員への教育・研修を通じてコンプライアンスを徹底するとともに、内部通報制度による法令または定款違反行為の早期発見と是正、および内部監査部門によるコンプライアンス体制の監査等を行います。

②取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

当社は、取締役の業務執行に係る情報を文書管理規程に従い、適切に保管および管理し、必要に応じて閲覧可能な状態を維持します。

③損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社は、リスク管理に関する全社的な体制を整備するため、リスク管理に係る規程に則り、グループを含めた全社のリスクを統合的に管理するリスクマネジメント委員会を設置して、想定されるリスクを抽出し、重要リスクを選定して、リスクに応じた責任部門の明確化と対応策の整備により、その軽減等に取り組みます。

④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は、重要な経営の意思決定ならびに会社の業務執行の監督を行う機関として取締役会を位置づけております。また、執行役員制度を導入し、業務執行の意思決定スピードを高め、マネジメント機能を強化することにより、事業環境への迅速な対応を図っております。

業務の運営については、組織規程、職務権限規程、稟議手続規程に基づき、効率的な業務執行を確保するとともに、中期経営計画、年度経営計画を策定し、その進捗状況の定期的な確認と必要な対応を実施します。

⑤当該会社ならびにその親会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社は、グループ各社の全ての役職員に適用されるコンプライアンスコードに則り、グループのコンプライアンスを推進します。また、リスク管理に係る規程に則り、グループ全体のリスク管理体制の整備を図るほか、内部監査部門はグループ全体の内部監査を実施します。

なお、関係会社の経営については、関係会社の経営の主体性を尊重するとともに、関係会社管理規程に基づき、事業内容の定期的な報告および重要案件に関する事前協議等を実施することによりグループ全体の業務の適正を図ります。

⑥監査役職務を補助すべき使用人の設置およびその独立性に関する事項

当社は、監査役職務を補助する専任の使用人を設けていませんが、重要な拠点、事業所における監査役監査等について、内部監査部門の使用人が監査役と連携して効率的な監査を実施します。

なお、監査役からの求めがある場合には、監査役会に専任の補助使用人を設置します。その場合、取締役は、当該補助使用人の異動等については、監査役会と事前協議を行います。

⑦監査役への報告体制およびその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

取締役は、法令または定款に違反する事実、会社に著しい損害を与えるおそれのある事実を発見したときは、当該事実に関する事項について、監査役会に速やかに報告します。

また、監査役は取締役会等の重要な会議に出席するとともに、稟議書等の重要な文書を閲覧し、必要に応じ取締役、使用人に説明を求めます。

上記の基本方針に基づき、業務の適正性を確保していくとともに、今後もより効果的な内部統制システムの構築を目指して、常に現状の見直しを行い、継続的な改善を図ってまいります。

II-6. 会社の支配に関する基本方針

当社では、会社の財務および事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については特に定めておりません。今後とも持続的な企業価値向上による時価総額の増大、経営の透明性向上、IR活動推進による積極的な情報開示、継続的な株主還元策等を実施し、株主の皆様が魅力を感じる企業づくりを行ってまいります。

以上のご報告は、次により記載しております。

1. 百万円単位の金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。
2. 千株単位の株式数は、千株未満切り捨てにより表示しております。
3. 比率は、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	(ご参考) 前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	90,160	79,931
現金及び預金	21,362	18,950
受取手形及び売掛金	36,218	32,063
リース投資資産	2,576	1,762
有価証券	745	178
商品及び製品	16,534	14,329
仕掛品	1,401	1,733
原材料及び貯蔵品	3,907	3,748
前払費用	1,330	1,054
繰延税金資産	5,129	4,925
短期貸付金	1	2
その他	1,302	1,554
貸倒引当金	△350	△370
固定資産	52,124	50,128
有形固定資産	39,839	36,231
建物及び構築物	16,736	15,232
機械装置及び運搬具	2,609	2,393
工具、器具及び備品	9,857	9,432
土地	8,893	7,892
リース資産	618	1,137
建設仮勘定	1,124	143
無形固定資産	6,903	6,646
ソフトウェア	4,447	4,584
のれん	2,194	1,830
その他	262	231
投資その他の資産	5,381	7,250
投資有価証券	3,259	3,101
長期貸付金	14	2
繰延税金資産	87	116
長期前払費用	318	310
投資不動産	—	2,106
その他	1,704	1,616
貸倒引当金	△3	△3
資産合計	142,285	130,059

科目	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	(ご参考) 前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	34,728	30,992
支払手形及び買掛金	12,176	11,574
短期借入金	5	310
リース債務	252	594
未払費用	4,417	4,156
未払法人税等	2,776	2,728
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	3,622	3,277
役員賞与引当金	248	207
製品保証引当金	157	128
その他	11,070	8,013
固定負債	5,053	4,834
長期借入金	4	11
リース債務	257	551
繰延税金負債	1,759	1,454
退職給付引当金	1,263	751
役員退職慰労引当金	160	160
その他	1,607	1,905
負債合計	39,782	35,827
純資産の部		
株主資本	106,543	97,433
資本金	9,187	9,041
資本剰余金	14,127	13,981
利益剰余金	83,484	74,662
自己株式	△255	△252
その他の包括利益累計額	△4,709	△3,899
その他有価証券評価差額金	426	185
繰延ヘッジ損益	△0	△13
為替換算調整勘定	△5,136	△4,071
新株予約権	546	600
少数株主持分	122	98
純資産合計	102,502	94,232
負債・純資産合計	142,285	130,059

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)		(ご参考) 前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	
売上高		134,743		124,694
売上原価		51,652		46,389
売上総利益		83,091		78,304
販売費及び一般管理費		63,885		60,015
営業利益		19,205		18,288
営業外収益				
受取利息及び配当金	195		180	
投資不動産収入	211		390	
業務提携契約一時金	—		214	
助成金収入	69		109	
その他	187	664	194	1,089
営業外費用				
支払利息	95		97	
売上割引	33		30	
投資不動産維持費	49		152	
持分法による投資損失	60		60	
為替差損	403		885	
その他	96	739	172	1,398
経常利益		19,130		17,979
特別利益				
固定資産売却益	13		33	
貸倒引当金戻入益	—		64	
投資有価証券売却益	1		—	
会員権売却益	0		—	
新株予約権戻入益	2	18	3	101
特別損失				
固定資産除売却損	176		97	
会員権評価損	13		—	
投資有価証券評価損	—		41	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	190	187	326
税金等調整前当期純利益		18,958		17,755
法人税、住民税及び事業税	6,890		5,861	
法人税等調整額	37	6,928	451	6,312
少数株主損益調整前当期純利益		12,030		11,443
少数株主利益		23		31
当期純利益		12,007		11,411

連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	9,041	13,981	74,662	△252	97,433		
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)	145	145			291		
剰余金の配当			△3,184		△3,184		
当期純利益			12,007		12,007		
自己株式の取得				△3	△3		
自己株式の処分		0		0	0		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	145	145	8,822	△3	9,110		
当期末残高	9,187	14,127	83,484	△255	106,543		
	その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	185	△13	△4,071	△3,899	600	98	94,232
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)							291
剰余金の配当							△3,184
当期純利益							12,007
自己株式の取得							△3
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	240	13	△1,064	△810	△53	23	△840
当期変動額合計	240	13	△1,064	△810	△53	23	8,270
当期末残高	426	△0	△5,136	△4,709	546	122	102,502

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度末 (平成24年3月31日現在)	(ご参考) 前事業年度末 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	53,920	47,990
現金及び預金	9,070	7,835
受取手形	3,316	2,819
売掛金	24,723	21,920
リース投資資産	259	108
有価証券	500	—
商品及び製品	7,728	6,653
仕掛品	651	776
原材料及び貯蔵品	1,681	1,313
前渡金	30	30
前払費用	712	504
未収収益	0	129
繰延税金資産	1,736	2,186
未収入金	3,153	3,201
短期貸付金	218	385
その他	138	125
固定資産	56,863	55,394
有形固定資産	21,816	19,721
建物	11,186	10,586
構築物	987	1,025
機械及び装置	201	160
工具、器具及び備品	2,652	2,566
土地	6,349	5,342
リース資産	2	6
建設仮勘定	436	34
無形固定資産	4,750	3,701
特許権	62	69
商標権	66	75
ソフトウェア	3,453	3,512
のれん	1,124	—
電話加入権	43	43
施設利用権	0	0
投資その他の資産	30,297	31,971
投資有価証券	2,692	2,485
関係会社株式	19,179	19,270
関係会社出資金	5,789	5,796
長期貸付金	697	206
長期前払費用	125	109
繰延税金資産	659	830
差入保証金	766	775
投資不動産	—	2,106
その他	386	390
資産合計	110,784	103,385

科目	当事業年度末 (平成24年3月31日現在)	(ご参考) 前事業年度末 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	24,238	21,650
支払手形	421	351
買掛金	12,475	11,822
短期借入金	2,394	1,714
リース債務	2	4
未払金	3,957	2,739
未払費用	553	646
未払法人税等	1,205	1,527
前受金	300	271
前受収益	6	37
賞与引当金	2,272	2,055
役員賞与引当金	234	206
製品保証引当金	70	49
その他	343	223
固定負債	1,758	1,676
リース債務	0	2
退職給付引当金	881	401
役員退職慰労引当金	160	160
資産除去債務	11	—
長期預り保証金	530	1,022
長期預り金	173	89
負債合計	25,996	23,326
純資産の部		
株主資本	83,829	79,292
資本金	9,187	9,041
資本剰余金	15,058	14,912
資本準備金	15,052	14,907
その他資本剰余金	5	5
利益剰余金	59,838	55,590
利益準備金	389	389
その他利益剰余金	59,449	55,200
試験研究積立金	9,800	9,800
別途積立金	27,715	27,715
繰越利益剰余金	21,933	17,685
自己株式	△255	△252
評価・換算差額等	412	165
その他有価証券評価差額金	412	179
繰延ヘッジ損益	△0	△13
新株予約権	546	600
純資産合計	84,788	80,058
負債・純資産合計	110,784	103,385

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)		(ご参考) 前事業年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	
売上高		81,590		74,460
売上原価		37,889		34,806
売上総利益		43,700		39,654
販売費及び一般管理費		36,070		34,081
営業利益		7,630		5,573
営業外収益				
受取利息及び配当金	2,928		3,237	
投資不動産収入	211		390	
業務提携契約一時金	—		214	
その他	186	3,325	143	3,985
営業外費用				
支払利息	14		13	
投資不動産維持費	49		152	
為替差損	295		706	
その他	79	439	149	1,022
経常利益		10,515		8,535
特別利益				
固定資産売却益	0		0	
投資有価証券売却益	1		—	
新株予約権戻入益	2	4	3	4
特別損失				
固定資産除却損	42		68	
固定資産売却損	20		—	
会員権評価損	13		—	
会員権売却損	0		—	
投資有価証券評価損	—		41	
関係会社出資金評価損	—		13	
資産除去債務会計基準適用に伴う影響額	—	77	75	199
税引前当期純利益		10,443		8,340
法人税、住民税及び事業税	2,504		2,186	
法人税等調整額	506	3,010	△389	1,796
当期純利益		7,433		6,543

株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本										
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			利益剰余金合計		
					試験研究積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	9,041	14,907	5	14,912	389	9,800	27,715	17,685	55,590	△252	79,292
当期変動額											
新株の発行 (新株予約権の行使)	145	145		145							291
剰余金の配当								△3,184	△3,184		△3,184
当期純利益								7,433	7,433		7,433
自己株式の取得										△3	△3
自己株式の処分			0	0						0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)											
当期変動額合計	145	145	0	145	—	—	—	4,248	4,248	△3	4,536
当期末残高	9,187	15,052	5	15,058	389	9,800	27,715	21,933	59,838	△255	83,829

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	179	△13	165	600	80,058
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					291
剰余金の配当					△3,184
当期純利益					7,433
自己株式の取得					△3
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	232	13	246	△53	192
当期変動額合計	232	13	246	△53	4,729
当期末残高	412	△0	412	546	84,788

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

平成24年5月10日

シスメックス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 梶 浦 和 人 ㊞
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和 田 朝 喜 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、シスメックス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、シスメックス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

平成24年5月10日

シスメックス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 梶 浦 和 人 ㊞指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和 田 朝 喜 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、シスメックス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第45期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査役会の監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

当監査役会は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第45期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査規程に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」として会社計算規則第131条各号に掲げる事項を適切に整備している旨の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成24年5月16日

シスメックス株式会社 監査役会

常勤監査役 小林 晴美 ⑩

常勤監査役 宮内 利幸 ⑩

社外監査役 藤岡 弘 ⑩

社外監査役 稲益 勇 ⑩

以上

〈メ 毛〉

A series of 20 horizontal dotted lines for writing.

<メ 毛>

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 20 lines.

定時株主総会 会場ご案内略図



株主総会 会場

神戸 西神オリエンタルホテル

神戸市西区梶台5丁目6番3号

神戸 西神オリエンタルホテル 4階 翔雲の間

電話 (078)992-8111(代表)



交通のご案内



神戸市営地下鉄「西神中央」下車
徒歩1分

西神中央駅まで三宮駅より市営地下鉄で約30分、
新神戸駅より市営地下鉄で約32分

